

平成25年4月の中学校再編成実施に向けて



菊池 巳喜男 議員
(清風会)

問

再編に向け、小友地区では「小友地区中学校再編計画を考える会」が立ち上がり、説明会で激しい議論を交わし、同会でも会合を重ねた。今年4月には、保護者側を中心に原案を受け入れても良い旨の意見が大勢を占め、再編やむなしの重い結論を出した。これにより、市内全地区の合意が整い、平成25年4月の再編が実現される運びとなった。この会を通じ、地域の大切さ、思い、守り育てる心を確認する事ができた。中学校再編成は、少子高齢化の中で人口減少にあえぐ、各地区の未来をも左右する重要な課題である。再編後の地域づくりと中学校跡地活用をどのように考えているのか。

答

5月9日に、考える会の会長と副会長から中学校再編成計画の内容を受け入れる報告があった。再編後の学校跡地活用は、早期に町毎の地連協等組織により、検討委員

会を立ち上げ、地域の活性化、コミュニティの活力の醸成に繋がるよう積極的な活用を図っていきたい。

問

再編計画に向けて昨年発足された学校づくり協議会の構成メンバーや、これまでの協議内容等の経過と、今後のスケジュールについて、また、地区ごとに設置される各学区部会の進捗状況はどうなっているか。

答

学校づくり協議会は、有識者・地域住民・親の立場から各5名の委員で構成し、教育方針等将来展望・校名・校歌・校章や制服・部活動・スクールバス運行・PTAや地域の交流・地域文化の取組等12項目に検討協議を行う組織で本年1月26日に設置し、進め方の方針について決定した。今後、6月14日に協議会を開催し具体的検討に入る。学区部会は、遠野中・綾織中・附馬牛・中学区部会が2月24日、土淵中・青笹中・上郷中

学区部会が同月25日に設置された。その中で、現在、進めている遠野中学校改築基本設計も、検討している。会の出席状況も良く、再編成を成功させようとする気持ちも伝わってくる。今後、6月下旬に検討事項の具体的協議を開催予定で、小友

●その他の質問 自殺問題について

町では、学区部会委員の選任を現在行っている。なお、校名は市民より公募、協議会で決定し、学校設置条例に校名を入れ、来春3月に提案する事としたい。



再編成が決定された小友中